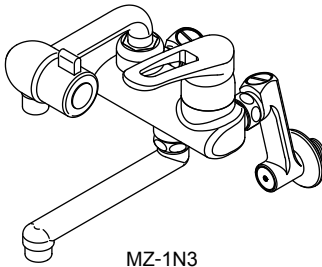


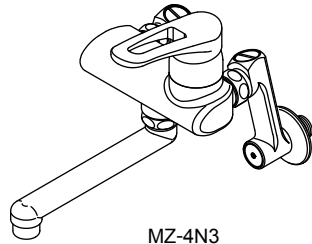
工事要領、取扱説明書

製品名： 熱湯口付混合栓ワンレバーまぜまぜ
(EWS/EWR シリーズ専用)

型 式： MZ-1,3,4,6,7N3
MZ-9N3(1)



MZ-1N3



MZ-4N3

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事(試運転)後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
(この工事要領、取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、
弊社は一切責任を負いません。)

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
まぜまぜ(型式:MZ-N3)について	5
ラインナップと各部名称	5
工事要領	8
施工前にご確認ください	9
1. 部品の確認	9
2. 設置場所の確認	10
施工する	11
1. 設置、配管する	11
2. 設置、配管後の確認	15
3. 調整する	15
取扱説明	18
使用方法	19
1. 使用前の準備と確認	19
2. 出湯する	19
日常のお手入れ	20
本体の清掃	20
こんなときは	21
故障かな?と思ったら	21
水栓の清掃	22
アフターサービス	23
消耗品について	23
補修用性能部品について	23
メンテナンス契約について	23
修理をご依頼の際には	23

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しました。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。










⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。

重要事項:必ずお守りください

 警告	
	断水中は混合湯吐水口から給湯を行わないでください。 熱湯が出てやけどのおそれがあります。
	床置き電気給湯器(ESD、ES-DWシリーズ)には使用しないでください。 高温のお湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、本体に直接触れないでください。また、熱湯吐水口の下に手を出さないでください。 やけどのおそれがあります。

 注意	
	屋外に設置しないでください。 故障や漏水の原因となります。
	本体や吐水管に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	本体や吐水管に物を置いたり重いものをぶら下げないでください。 故障や漏水の原因となります。
	水道水(上水)以外は使用しないでください。 故障や漏水の原因となります。
	絶対に改造はしないでください。 故障や漏水の原因となります。
	配管は正しく行ってください。 逆に配管した場合、水を出そうとしても湯が出てしまい、やけどをするおそれがあります。
	施工の際は付属の純正部品を必ずご使用ください。 故障や誤動作の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。 凍結により破損、漏水のおそれがあります。
	混合湯を使用する場合は必ず低い温度から出湯してください。 やけどのおそれがあります。
	ハンドルおよびレバー操作はゆっくり行ってください。 本体を破損するおそれがあります。
	ストレーナー清掃の際は必ず止水栓を閉めて行ってください。 漏水の原因となります。

まぜまぜ(型式:MZ-N3)について

まぜまぜ(型式:MZ-N3)は開放型の壁掛式電気湯沸器EWS/EWRシリーズ専用のワンレバー式混合水栓シリーズで、熱湯口有/無タイプなど合計6種類あります。

ラインナップと各部名称

湯沸器および矢印部分は製品に含まれません。

<p>MZ-1N3</p>	<p>埋込み配管型</p> <p>熱湯口:あり</p> <p>本体質量:3.4kg</p>
<p>MZ-3N3</p>	<p>立ち上がり配管型</p> <p>熱湯口:あり</p> <p>本体質量:4.2kg</p>
<p>MZ-4N3</p>	<p>埋込み配管型</p> <p>熱湯口:なし</p> <p>本体質量:2.8kg</p>

<p>MZ-6N3</p>	<p>立ち上がり配管型</p> <p>熱湯口:なし</p> <p>本体質量:3.7kg</p>
<p>MZ-7N3</p>	<p>埋込み/露出配管型</p> <p>熱湯口:あり</p> <p>本体質量:3.7kg</p>
<p>MZ-9N3(1)</p>	<p>露出配管型</p> <p>熱湯口:あり</p> <p>EWR専用</p> <p>本体質量:4.7kg</p>

共通項目

MEMO

工事要領

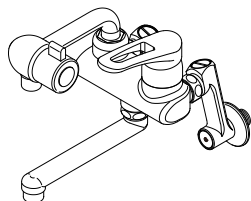
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

MZ-N3本体

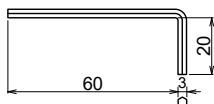


図はMZ-1N3。
各型番の違いはP.5参照

付属品(全型番共通のもの)



工事要領、取扱説明書×1
(この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)



六角棒スパナ(呼び3)×1
(工事終了後、ご使用になられる方へお渡しいただき、当冊子と一緒に保管してください。)

付属品(型番により異なるもの)

MZ-1N3

送り座金×2
熱湯口付混合栓の使い方シール×1

MZ-4N3

送り座金×2
混合栓の使い方シール×1

MZ-3N3

取付脚(給水×1、給湯×1)
熱湯口付混合栓の使い方シール×1

MZ-6N3

取付脚(給水×1、給湯×1)
混合栓の使い方シール×1

MZ-7N3

取付脚(給水×1、給湯×1)
送り座金×2
タッピング皿ネジ(呼び径5mm)×3
熱湯口付混合栓の使い方シール×1

MZ-9N3(1)

取付脚(給水×1、給湯×1)
タッピング皿ネジ(呼び径5mm)×5
ワッシャー(給水×1、給湯×1)
熱湯口付混合栓の使い方シール×1

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品

どの機種でも必ず事前にご用意ください。


① 壁掛式湯沸器EWS/EWRシリーズ

まぜまぜ(MZ-N3シリーズ)はEWS/EWRシリーズ専用です。

② シールテープ

配管接続部分から漏水させないために必要です。

2.設置場所の確認

	<p>床置き式電気給湯器(ESD、ES-DWシリーズ)には使用しないでください。 高温のお湯が出て、やけどをするおそれがあります。</p>
---	--

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結の可能性がある場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。	<input type="checkbox"/>
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	<input type="checkbox"/>
取付場所	(壁面取り付けの場合)垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。 本体質量に耐えられる場所ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
湯沸器の位置	湯沸器底面からまぜまぜ吐水口までの落差距離はとられていますか？ EWS/EWRシリーズは給湯圧力が小さいため、湯沸器本体底面からまぜまぜの熱湯吐水口までの落差距離が200mm以上、熱湯吐水口のないタイプでは混合湯吐水口まで300mm以上必要です。 また、給湯配管の横引き距離は、落差距離の3倍までとしてください。	<input type="checkbox"/>
給水圧力	給水圧力は0.05～0.3MPaの範囲内ですか？ スムーズに給湯できませんので、必ず上記の範囲の給水圧力であることを確認してください。	<input type="checkbox"/>

施工する

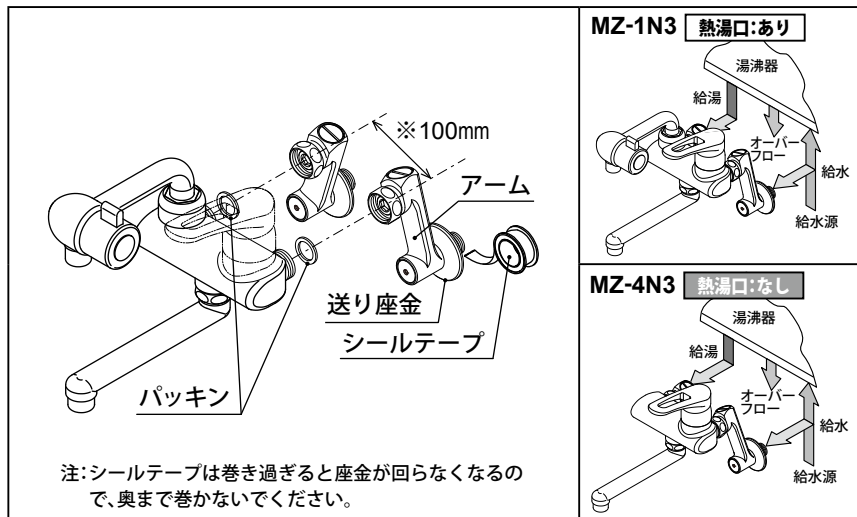
1.設置、配管する

お願い

- 施工の際は付属の純正部品を必ずご使用ください。
- お湯が出なくなるおそれがありますので、混合湯吐水口には絶対に浄水器を取り付けないでください。
- 本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。

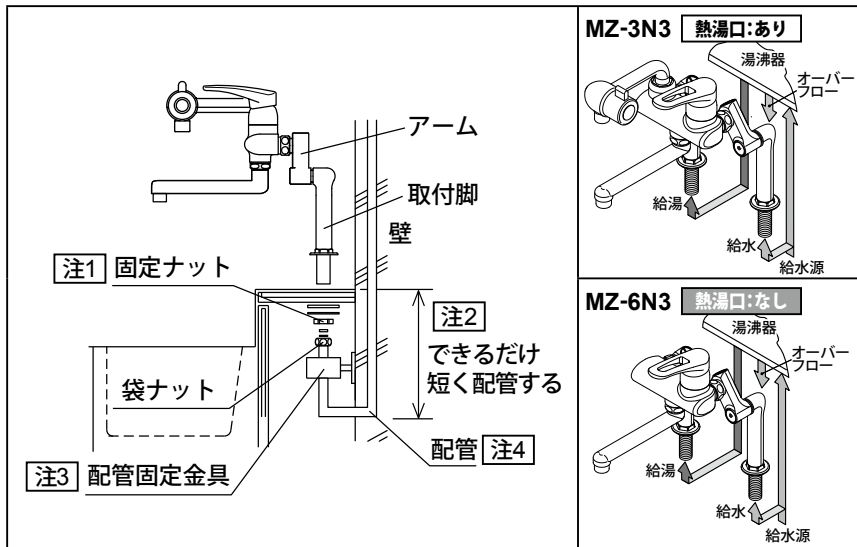
MZ-1N3およびMZ-4N3【壁取付タイプ、埋め込み配管型】

- ①アームのおねじ部に送り座金をねじ込み、おねじ部先端から10mm位にお客様手配品のシールテープを巻き、壁面の給水管および給湯管に接続します。
- ②アームの袋ナット内にパッキンを入れます。
- ③左右のアーム同士の間隔を約100mm(下図※)に調整し、MZ本体を取り付けます。
- ④漏水のないよう、接続部をしっかりと締めてください。



MZ-3N3およびMZ-6N3【デッキタイプ、立ち上がり配管型】

- ① 固定ナットを使用して取付脚と流し台を固定します。
※流し台取付部が強度的に弱い場合は、補強板等で補強してください。
- ② アームのおねじ部の先端から10mm位にお客様手配品のシールテープを巻き、取付脚に接続します。(→P.11『MZ-1N3およびMZ-4N3』参照)
- ③ アームの袋ナット内にパッキンを入れます。
- ④ 左右のアーム同士の間隔を約100mmに調整し、MZ本体を取り付けます。(→P.11『MZ-1N3およびMZ-4N3』参照)
- ⑤ 給水管と給湯管をそれぞれ取付脚に接続します
- ⑥ 漏水のないよう、接続部をしっかりと締めてください。



注1: MZ-3N3およびMZ-6N3本体は前のめりに重量がかかる上に、下部から配管する構造のため、設置作業時に固定金具類の締め込みが足りないと、ねじ込み部が緩みがちになりますので、**しっかり固定してください。**

注2: 立ち上がり配管の場合は熱湯の出が悪くなりがちですので、配管立ち上がり部分が短くなるように、**できるだけ高い位置で配管を折り返してください。**

注3: お客様手配品の配管固定金具などで**必ず配管自体を固定してください。**

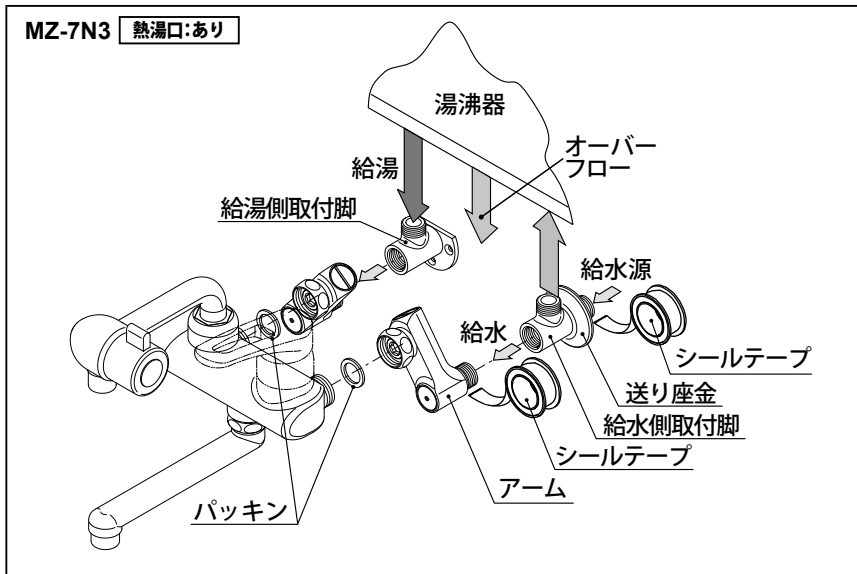
注4: **給湯配管内からエアーを抜いてください。**エアー噛みで湯が出なくなる場合があります。

工事要領

施工する

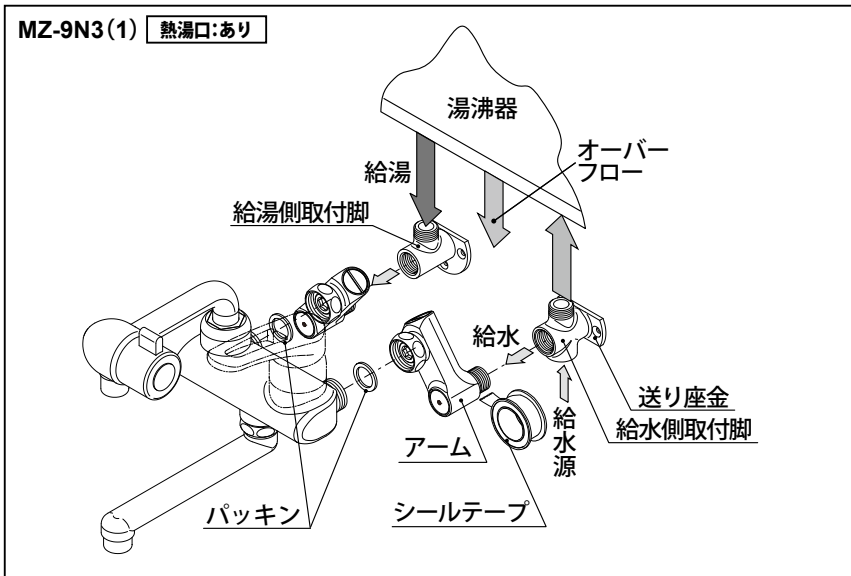
MZ-7N3【壁取付タイプ、埋込み／露出配管型】

- ①給水側取付脚のネジ部の先から10mm位にお客様手配品のシールテープを巻き、壁面にある給水管に接続します。
- ②給湯側取付脚を付属品のタッピング皿ネジで壁面に固定します。
- ③お客様手配品の給水管、給湯管で、それぞれ取付脚と湯沸器を接続します。
- ④お客様手配品のオーバーフロー管を配管します。
- ⑤アームのおねじ部の先端から10mm位にお客様手配品のシールテープを巻き、それぞれ取付脚に接続します。
- ⑥アームの袋ナット内にパッキンを入れ、MZ本体を取り付けます。
- ⑦漏水のないよう、接続部をしっかりと締めてください。



MZ-9N3(1)【壁取付タイプ、露出配管型】

- ① 給水、給湯側取付脚を付属品のタッピング皿ネジで壁面に固定します。
このとき、給水、給湯配管は垂直に、取付脚の高さが同じになるよう固定してください。
- ② お客様手配品の給水管、給湯管で、それぞれ取付脚と湯沸器を接続します。
- ③ お客様手配品のオーバーフロー管を配管します。
- ④ アームのおねじ部の先端から10mm位にお客様手配品のシールテープを巻き、それぞれ取付脚に接続します。
- ⑤ アームの袋ナット内にパッキンを入れ、MZ本体を取り付けます。
- ⑥ 漏水のないよう、接続部をしっかりと締めてください。



2.設置、配管後の確認

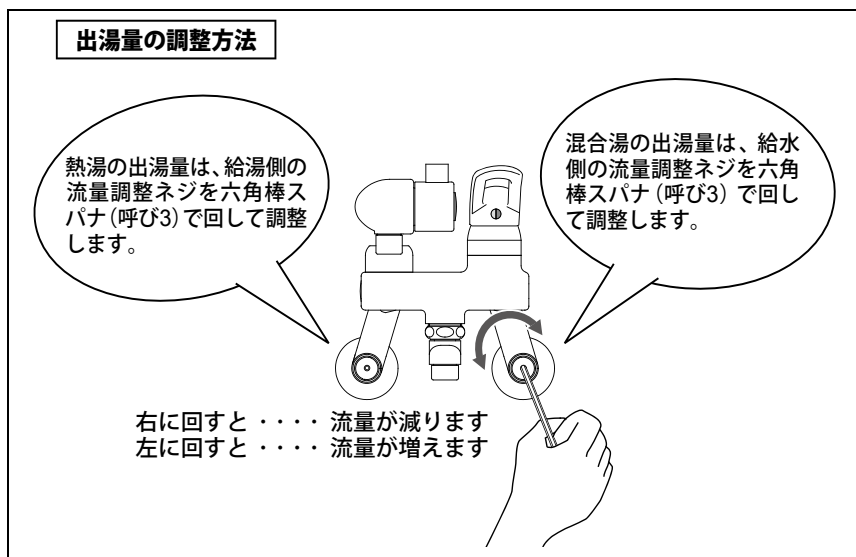
工事終了後、以下の事項をご確認ください。

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置工事	がたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>
流量	水圧は十分ですか？ 流量は適切ですか？(→下記「調整する」参照) ストレーナーにゴミが詰まっていますか？ (→P.22「水栓の清掃」参照)	<input type="checkbox"/>

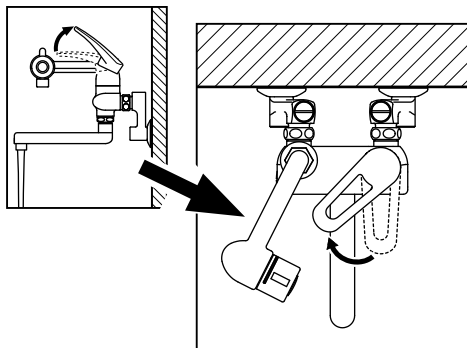
3.調整する

水圧0.2MPaの想定で湯温を調整して出荷しておりますので、取付後に現場の状況に応じて出湯量や混合湯温の再調整を行ってください。

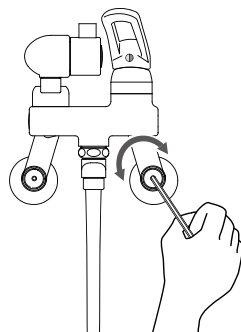


混合湯の湯温の調整方法

① 混合レバーで最大量出湯してから湯側一杯に回します。



② 希望の温度になるように給水側の流量調整ネジを調整します。



以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1. 使用前の準備と確認

ご使用前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
本体まわり	がたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
配管まわり	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>

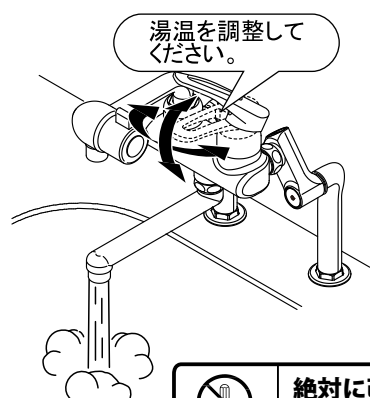
2. 出湯する

お願い

- お湯が出なくなるおそれがありますので、混合湯吐水口には絶対に浄水器やシャワーヘッドなどを取り付けないでください。
- 熱湯が出てやけどのおそれがありますので、断水中は混合湯吐水口から給湯を行わないでください。

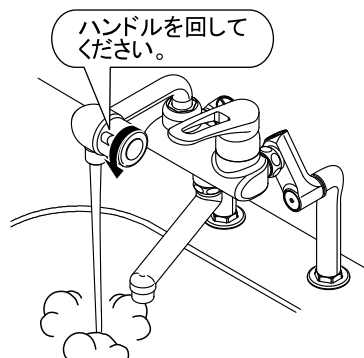
洗い物用の混合湯を出す

熱くする：レバー上げて左へ回す。
ぬるくする：レバー上げて右へ回す。



飲料用の熱湯を出す※

給湯用ハンドルを下へ回す。



絶対に改造はしないでください。
故障や漏水の原因となります。

※混合湯専用タイプは除く。

出湯時の注意点

- 本製品の混合栓側は出湯時に必ず湯水を混合する構造になっているため、レバーを湯側一杯に回しても湯沸器の設定温度で出湯されることはありません。
- 混合湯温の調整はレバーの左右で行うか、流量調整ねじで行う必要があります。(P.15「調整する」をご参照ください。)
- レバーの上げ下げによる出湯量の調整はできません。お湯を使用される場合、レバーを上一杯にしないと湯にならない場合があります。
- 混合湯温は給水温度に左右されます。給水温度が低いと混合湯温も低くなり、給水温度が高いと混合湯温も高くなります。

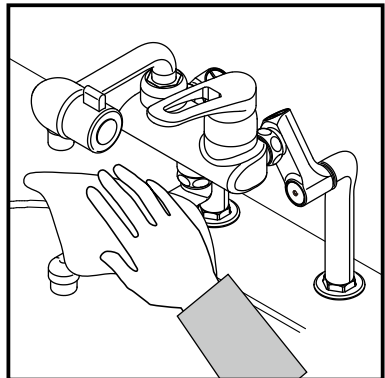
日常のお手入れ

本体の清掃

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。

清掃の際、以下のものは使用しないでください。

- ・たわし
- ・アルカリ性洗剤
- ・酸性洗剤
- ・ベンジン
- ・油
- ・クレンザー



こんなときは

故障かな？と思ったら

製品が不調な際、修理依頼の前にご確認ください。ここに記載の対処を行っても状態が改善しない場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
混合湯が熱い	止水栓は全開になっていますか？	止水栓を全開にしてください。
	流量調整ネジの開度は適切ですか？	P.15「調整する」をご参照の上、調整してください。
	断水ではありませんか？	断水時に混合湯吐水口から給湯を行うと熱湯が出ますので断水時は給湯を行わないでください。
	床置き電気給湯器を使用していますか？	この製品（MZ-N3）は壁掛式湯沸器専用です。床置きにはまぜませP（MZ-N3P）をご使用ください。
お湯がぬるい	湯沸器は正常に運転していますか？	湯沸器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	お湯を大量に使用した後ではありませんか？	沸き上がるまでお待ちください。詳細は湯沸器の取扱説明書をご参照ください。
	流量調整ネジの開度は適切ですか？	P.15「調整する」をご参照の上、調整してください。
お湯が出ない	湯沸器は正常に運転していますか？	湯沸器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	流量調整ネジの開度は適切ですか？	P.15「調整する」をご参照の上、調整してください。
お湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	配管や混合栓が凍結していませんか？	融けるまでお待ちいただき、その後は凍結防止策を講じてください。
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか？	止水栓を全開にしてください。
	配管やまぜませのストレーナーに詰まりはありませんか？	P.22「水栓の清掃」をご参照の上、清掃してください。配管に関しては管理技術者の方にご相談ください。
	【お湯の場合】湯沸器は正常に運転していますか？	湯沸器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	配管に異常はありませんか？	管理技術者の方にご相談ください。
水やお湯が止まらない	ハンドル類は正しい止水位置になっていますか？	ハンドル類が止水位置になっていることをご確認ください。 止水位置になっていても止まらない場合は部品の消耗が考えられます。アフターサービス窓口までご連絡ください。
ナットカバーが緩んでいる	ナットカバーからお湯が漏れた形跡がありませんか？	湯沸器の使用を中止し、アフターサービス窓口までご連絡ください。

水栓の清掃 **管理技術者の方**

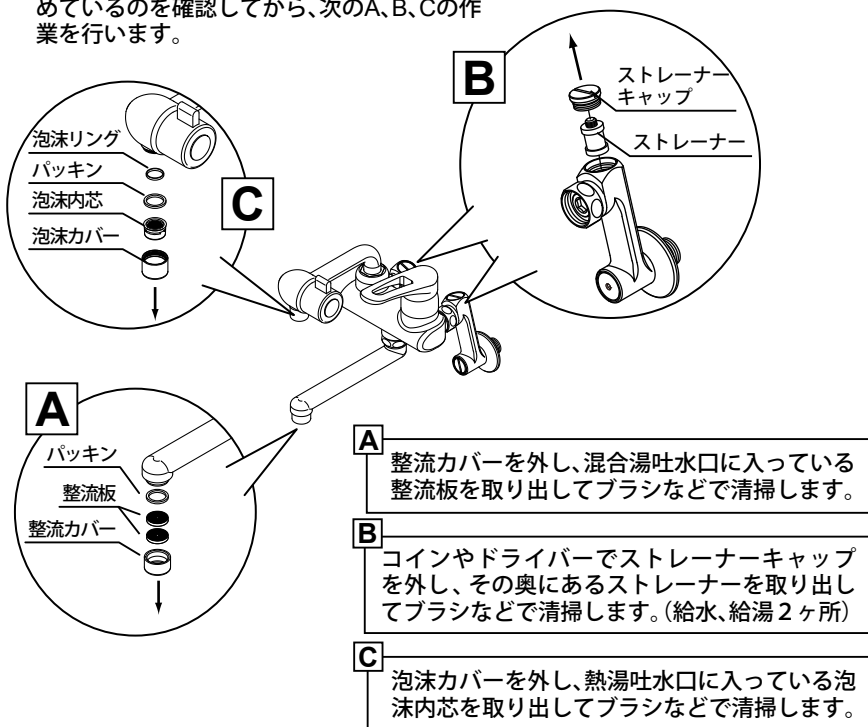
※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。



絶対に改造はしないでください。
故障や漏水の原因となります。

まぜまぜには配管のゴミなどをろ過するための「ストレーナー」が入っています。配管のゴミなどによってこのストレーナーが詰まると、流量不足などの原因となりますので、定期的に清掃を行ってください。

- ① 止水栓を閉め、湯沸器の電源をOFFにしてください。(湯沸器取扱説明書、参照)
- ② 湯沸器内のお湯と、まぜまぜ本体が十分に冷めているのを確認してから、次のA、B、Cの作業を行います。



- ③ 清掃後、取り外した部品を逆の要領で取り付けます。
- ④ 止水栓を開き、給湯用ハンドル、混合レバーを全開にします。空気を含んだ水が出ますので、吐水が安定するまで流し続けてください。
- ⑤ 給湯用ハンドル、混合レバーを閉め、湯沸器の電源をONにし作業終了です。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は定期的な交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。交換（有償）、購入のご依頼はアフターサービス窓口にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
パッキン類	設置、交換日より2年	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 ※水道水中のミネラル分が固着したものと。
カートリッジ	設置、交換日より3年	

※ 上記以外の部品でも交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.24の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45～17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.24 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。
(裏表紙に記載)

故障状況シート			
貴社名		ご担当者名	
ご住所			
T E L		F A X	
製品型番	まぜまぜ (型式：MZ- N3)		
状態			

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - (1) お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - (2) Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - (3) 工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - (4) 輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - (5) 専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - (6) 指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - (7) 温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - (8) 設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - (9) 電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - (10) 配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - (11) 建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

- (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
- (13) 保証票の提示が無い場合
- 6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
- 7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧くださいか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 **日本イトミック**

本社・営業本部 … TEL : 03 (3621) 2121 (代)
FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2
東京スカイツリーイーストタワー 24F
ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承ります。

リニューアル課 … TEL : 03 (3621) 2760
FAX : 03 (3621) 2160

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。
- その場合には、時間を置いて再度おかけ直してください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄り営業所まで直接お電話ください。

関東地区 … TEL : 03 (3621) 2161
FAX : 03 (3621) 2163

《担当エリアと営業所》

北海道地区 … TEL : 011 (615) 6681
北海道営業所 FAX : 011 (615) 7004
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒1条5-1-10 (ラポール24軒2号館)
担当エリア: 北海道地区全域

東北地区 … TEL : 022 (357) 0848
東北営業所 FAX : 022 (357) 0847
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂2-8-21
担当エリア: 青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 … TEL : 03 (3621) 2121
(株)日本イトミック 本社 FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
担当エリア: 東京都/千葉県/埼玉県/茨城県/栃木県/群馬県/神奈川県/山梨県/新潟県/静岡県

中部・北陸地区 … TEL : 052 (222) 2561
中部営業所 FAX : 052 (222) 2559
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-4-12 (アレックスビル3F)
担当エリア: 富山県/石川県/福井県/岐阜県/愛知県/三重県/長野県

近畿地区 … TEL : 06 (7177) 4949
関西営業所 FAX : 06 (7177) 4948
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ7F
担当エリア: 大阪府/京都府/滋賀県/和歌山県/奈良県/兵庫県

中国・四国地区 … TEL : 082 (240) 1361
中国営業所 FAX : 082 (240) 1363
〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-3-9 (大手町中村ビル2F)
担当エリア: 鳥取県/島根県/岡山県/広島県/山口県/香川県/徳島県/愛媛県/高知県

九州・沖縄地区 … TEL : 092 (481) 3911
九州営業所 FAX : 092 (481) 3930
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-28-5
担当エリア: 福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。